

# 支払基金における審査の 現状と問題点

日時 1月22日(土)午後3時～

会場 ANA クラウンプラザホテル9階ラベンダーの間  
(神戸市中央区北野町1丁目・山陽新幹線・神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結)

講師 支払基金兵庫支部係長 **南 鉄雄氏**

1971年支払基金兵庫支部に入所、係長として現在も兵庫支部で勤務。2000年より全国診療報酬支払基金労働組合中央執行委員長となり、本年8月より中央執行委員となる。

共催 **株式会社エムシーシステム**(医療機器展示会 併設)

※同会場で、株式会社エムシーシステムによる電子カルテ、レセプトコンピュータの  
展示会(11時～20時まで)を開催いたします

参加費 無料

民主党政権は、「事業仕分」にて「国保連合会と支払基金の統合等」と「査定と手数料との連動」を見直せとせまっています。

それを受けた支払基金は、生き残りをかけて、審査においてコンピュータの機能を最大限活用したシステムの構築をはじめ、レセ電によるレセプトの審査強化を強められています。

その状況で基金職員として働いて感じることと、問題点を提起し、レセプト請求の注意点も含め報告します。 【南記】

お問い合わせは、078-393-1817 田村・難波まで

FAX(078)393-1802へ(切り取らずに)ご返信ください

神戸支部「支払基金における審査の現状と問題点」1/22(土)

研究会に( )人参加します。

( )区

医療機関名( ) 電話番号( )

参加者氏名( )

## 兵庫県保険医協会 235号 2011年1月5日 神戸支部ニュース



発行 兵庫県保険医協会神戸支部  
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F  
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

2011年

### 新年のご挨拶



神戸支部長 **田中 孝明**



神戸支部の皆さま、新年、明けましておめでとうございます。  
旧年中は神戸支部活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。

さて、兎年の今年は、飛躍の年と言いたいところですが、医療を取り巻く環境は景気の動向と同じく、相変わらず不透明であります。円高、株安という経済状況における負のスパイラルは、不況による受診抑制という患者数の減少をもたらしております。

また、受診しても、すでに手遅れの状態という報告が会員の皆さまより度々寄せられています。

神戸市や国が進めている医療ツーリズムの問題等を考えましても、命がお金によって左右されかねない時代になってきたと実感させられます。

もちろんいい医療を受けるのはお金がかかります。ただ国民皆保険のもと、誰でも最低限の医療を受ける権利があるはずですよ。

今後、米国のように、現在の保険制度が民間の保険に移行する時代が来るかもしれません。そうなっては、再び、現在の素晴らしい国民皆保険制度に戻るのは困難かと思われれます。

話は変わりますが、昨年、神戸のJ1チームヴィッセル神戸が瀬戸際で“奇跡の残留”をなしとげました。その時、率いていた和田監督は、「これから人生、もっとつらいことがあるけれども、最後まであきらめずに」と試合後のロッカールームで選手に伝えておりました。この言葉をかりて、神戸支部は今年も皆様とともに、あきらめることなく闘うことを誓います。

今年も保険医協会と“トモニイコウ”

# 脳卒中をテーマに研究会 地域連携診療の推進を



日常診療における治療方法について活発に質疑応答が行われた

神戸支部は12月11日に、神戸市立医療センター中央市民病院神経内科・脳卒中センター医長の山上宏先生を講師に、研究会「脳卒中の地域連携診療と慢性期管理について」を開催、19人が参加した。

山上先生は、脳卒中について「現在でも我が国の死因の第3位を占め、さらに高齢化の進行により有病者数は増加しており、また寝たきり患者の最大の原因にもなっている」現状について報告。その上で「脳卒中は後遺症を残すことが多く、医療資源の

有効活用のためにも、急性期・回復期・維持期と時期に応じて様々な医療機関での治療や介護を必要とする」と解説した。

脳卒中の医療連携について、「神戸広域脳卒中地域連携協議会が神戸市医師会と協力し、脳卒中連携パスの運用を開始している」ことを解説し、「患者さんの症状や治療方針について、シームレスな情報の共有が重要」と強調した。

(参加者の感想文は次号掲載)

## < 投稿を募集しています >

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや、主張などお寄せください。

F A X 078 - 393 - 1802 田村まで  
e-mail tamura@doc-net.or.jp

## 中央区社保協が総会 記念講演で 「原爆症」を学ぶ



記念講演した郷地先生

神戸支部が加盟している中央区社会保障推進協議会が11月25日、2010年度総会を開催、30人が参加した。

総会議事では、2011年度も国保の改悪を許さない広範な運動をさらに進めること、なんでも相談会の定期開催や加盟団体を広げていくことなどの方針が確認され、新役員選出では武村義人副支部長が副会長に再選された。

記念講演は「罪なき人の灯を継いでー原爆症認定訴訟に関わってー」と題し

て、郷地秀夫支部幹事(東神戸診療所所長)が1000人を越える被爆者を診療した経験にもとづいて講演した。参加者からは「今も得体のしれない原爆症の恐怖を抱える被爆者の実情を知ることができた」と感想が寄せられた。

### 市内で開催される阪神・淡路大震災16年メモリアル行事のご案内をします。

①1月15日(土) 13時30分～ 元町・兵庫県私学会館・3階

◇シンポジウム「今なぜ「借上公営住宅」からの追い出しかー安心して住み続けられる復興住宅を」

基調報告 出口 俊一氏(兵庫県震災復興研究センター事務局長)

資料代 1,000円 主 催 兵庫県震災復興研究センター

②1月16日(日) 13時～17時、三宮・神戸市勤労会館・3階308号

◇大震災16年メモリアル集会

記念講演 「被災者支援制度の現状と課題」室崎益輝関西学院大学教授

報告 県西北部水害から1年5か月 鍋島 裕文(佐用町会議員)

大震災16年・被災者の暮らし 前島 豊氏(ひょうご福祉ネット)、ほか

資料代 1,000円 主 催 阪神・淡路大震災救援・復興県民会議

③1月17日(月) 9時30分～ 神戸平和と労働会館

◇1. 17ながたメモリアルウォーク&交流会

(JR新長田駅南へ徒歩7分、長田在宅福祉センター西隣)

①講演「震災から16年(仮)」(岩田伸彦県民会議事務局長)

②交流会 炊き出しを用意します(参加費は無料) 主 催 震災復興長田の会

お問い合わせは、兵庫県保険医協会事務局 078 393 1803 高山、小川まで